

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	スポーツ振興課		
	係名	スポーツ振興係		
	記入者		電話(内線)	612

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	紬の里結城パークゴルフ場管理運営				(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)			
② 施策コード	43101	(総合計画掲載ページ 123 ページ)		会計区分		一般会計				
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分		市単独				
基本施策	4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進(スポーツ)			予算科目		款 10	項 6	目 2		
施策	①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実			予算書上の		紬の里結城パークゴルフ場管理運営経費				
施策内容	1施設の有効活用			事業名称		(予算書 184 ページに掲載)				
(5) 事業期間	開始	平成	24	年			月から		(8) 事務分類	
	終了			年			月まで (力年)		自治事務	
					根拠法令	紬の里結城パークゴルフ場施設の設置及び管理に関する条例				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
施設利用者	「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にパークゴルフを楽しめる施設として維持管理する。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	
施設の適切な維持管理を実施する。	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし) 「成人週1スポーツ」の実現のため、特に高齢者が楽しめるスポーツ施設の拠点として整備。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境、市民ニーズ等) や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
・利用者増に伴う駐車場不足に対応するため、平成27年度に用地取得した駐車場用地を、平成28年度に整備する。なお、今回の整備では不十分ため、新たな協力地権者を模索していく。 ・現在の勤務体制は再任用職員2人、臨時職員2人の計4人で、再任用、臨時とも週4日勤務体制であるが、平成29年度は、現在の再任用2人が退職となり、職員の雇用や再任用配置換え等の検討が必要である。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映		
実施計画								
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）		
事業内容		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度		
（１）事務事業費	賃金（臨時職員）	982	1,070					
	需用費	673	1,275					
	委託料	3,007	3,526					
	使用料及び賃借料	65	65					
	工事請負費	0	6,422					
	公有財産購入費	3,708	0					
	備品購入費	1,313	57					
	その他	203	348					
	合計	9,951	12,763					
	財源	国庫支出金（千円）						
県支出金（千円）								
地方債（千円）								
その他特定財源（千円）		3,772	3,600					
一般財源（千円）		6,179	9,163					
合計（千円）		9,951	12,763					
補助・起債制度名								

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称			単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	年間管理委託	目標値	件		1	1	1	1	
		実績(見込)値		1	1				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	施設利用者数	目標値	人		30,000	30,000	30,000	30,000	
		実績(見込)値		29,633	30,000	30,000	30,000	30,000	
		達成率		98.8 %	100.0 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 芝の良好な状態を保つため、ホールカップの定期的な移動や特設ティーの設置を実施した。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	「成人週1スポーツ」の拠点として、特に高齢者が楽しめる施設として、適切な維持管理を実施していかなければならない。					
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	再任用職員2人の退職に伴い、勤務体制の検討を要する。					
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	現在のやり方が一般的であるが、指定管理等も有効と考える。					
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	指定管理等を実施できれば、効率が上がると考える。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	誰もが利用できる施設である。					
有効性	成果の向上	A	上がっている	「成人週1スポーツ」の拠点として、利用が図られている。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	H26年度に開場した施設であり、軽微な改修を行い、より楽しめる施設とした。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 多くの利用者が毎日訪れるため、芝の維持管理に十分な注意が必要である。 現在の勤務体制は再任用職員2人、臨時職員2人の計4人で、再任用、臨時とも週4日勤務体制であるが、平成29年度は、現在の再任用2人が退職となり、職員の雇用や再任用職員の配置換えの検討が必要である。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ ホールカップの定期的な移動、特設ティーの設置等により、芝の保護を図るとともに、利用者の声を大切に、より良い施設管理を行い利用者の増加を図る。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		現状のまま継続 (改善・改革なし)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		現状のまま継続 (改善・改革なし)			子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツ・レクリエーションに親しむための施設として整備充実を図る。				
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う					上記評価のとおり。				